

わたし ほっぽうりょうど
私たちの北方領土



羅臼町海洋教育推進協議会

ひょうし らうすくなしりてんぼうとう から みた 国後島と

ほっぼうりょうど
北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」

もくじ

はじめに	1
1 北方領土のあらまし	2
(1) 北方領土の島々の位置	2
(2) 北方領土の島々の面積	3
2 北方領土の自然	4
(1) 北方領土の気候	4
(2) 北方領土の動植物	6
3 北方領土の人口	7
4 人々の生活	9
5 北方領土の産業	11
(1) 水産業	11
(2) 林業	12
(3) 農業・畜産業	13
(4) 鉱業	14
6 北方領土の交通・通信	14
7 北方領土の歴史	15
(1) 千島の発見	15
(2) 千島の開発	17
(3) 国境が決まる	18
(4) 国境の変更	19
(5) 第二次世界大戦	22
(6) 奪われた島々	24
(7) サンフランシスコ平和条約	25
(8) 日ソ共同宣言	25
(9) 北方領土の問題	26
8 だ捕と安全操業問題	27
(1) だ捕と抑留	27
(2) 北方領土の安全操業問題	30
9 北方領土への墓参	31
10 ビザなし交流	32
おわりに	35

はじめに

9月の満月（ハーベストムーン）に
照らし出される国後島

前浜の海の向こう
に横たわる島は、
羅臼町の子どもで
あれば、だれでも知
っている国後島で



す。皆さんのおじいちゃんやおばあちゃん、またはひいおじ
いちゃん、ひいおばあちゃんの中にも、この国後島やその近
くの島々で生まれたり、育ったりした人もいると思います。

でも、今は日本人は誰も住んでいません。そればかりでは
ありません。自由に行き来することもできないのです。

それは、国後島やその近くの島々の北方領土と呼ばれる
島々に住んでいた日本人は、1948年（昭和23年）にソ連（今
のロシア）の命令で、全員北海道や本州などに引き揚げさせ
られました。ですから、島に住みたくても住むことができな
いのです。

では、北方領土は日本の領土ではなくなってしまったので
しょうか。いいえ、日本の領土なのです。日本の領土であり
ながら日本人が住めないなんて不思議に思うでしょう。

その理由や島々の様子、歴史などについてこれから一緒に
学習しましょう。

1 北方領土のあらまし

(1) 北方領土の島々の位置

北方領土とは、日本の北東の端に位置する歯舞群島、
色丹島、国後島、択捉島のことです。

歯舞群島は、
北海道根室半島の
納沙布岬の沖合
3.7キロメートル
から北東に連なっ
ている、貝殻島、



水晶島、秋勇留島、勇留島、志発島、多楽島などの島々のこ
とです。

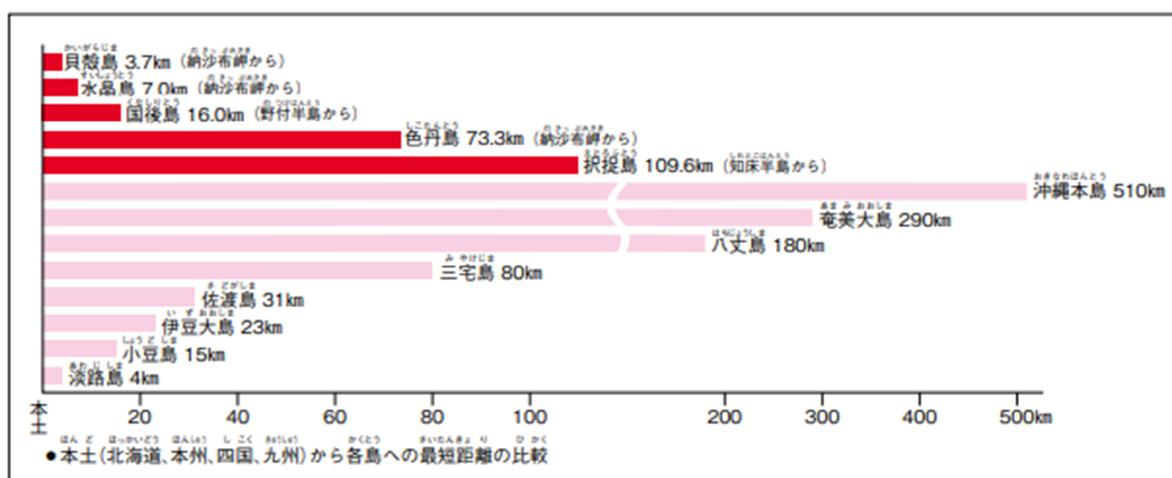
色丹島は、歯舞群島の北東22キロメートルにあります。

歯舞群島と色丹島は、大昔、根室半島と地続きでしたが、
土地が沈んだことなどによって離れ島になったと言われてい
ます。

くなしりとう ねむろはんとう しれとこはんとう ちゅうかん ほっかいどうほんとう おきあい
国後島は、根室半島と知床半島との中間、北海道本島の沖合

16キロメートルの地点から北東にある全長122キロメートル
の島です。

えとろふとう くなしりとう ほくとう ぜんちょう
択捉島は、国後島の北東22.5キロメートルにある全長204
キロメートルの島です。



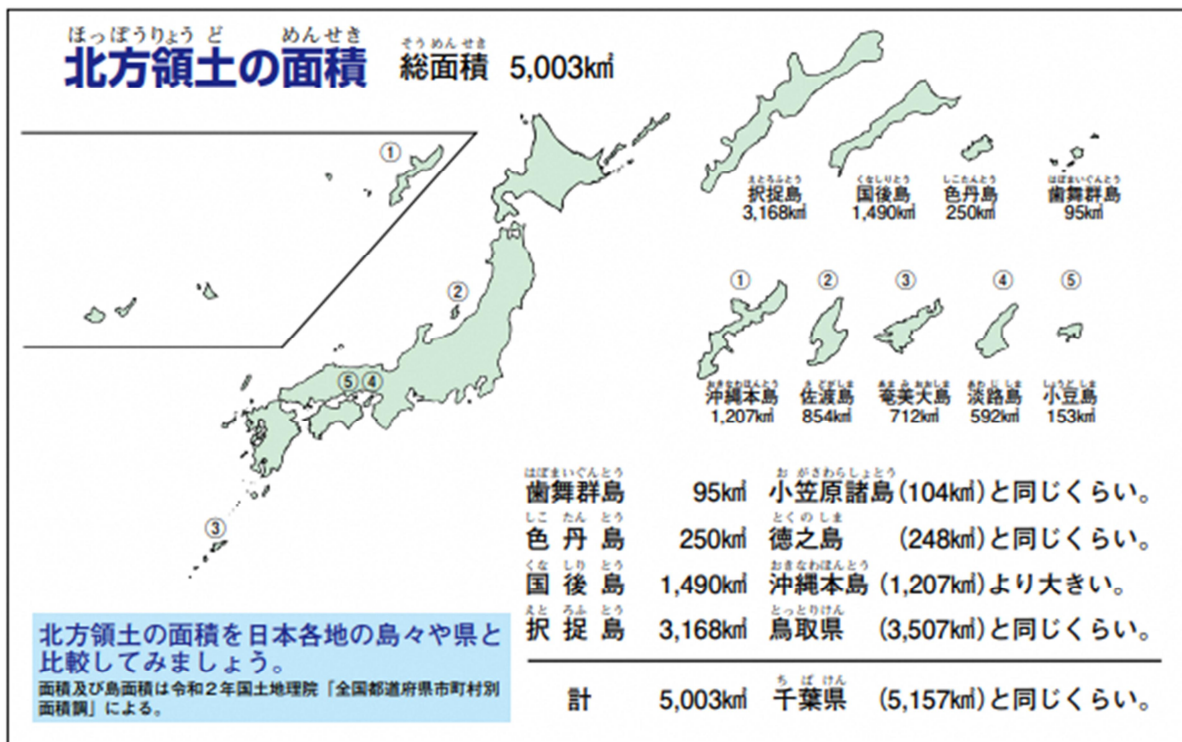
べつかいちようさくせい べつかいほっぼうてんぼうとう てんさい
別海町作成 「別海北方展望塔」より転載

(2) 北方領土の島々の面積

ほっぼうりょうど めんせき ちばけん めんせき おな いちばんおお
北方領土の面積は、千葉県ちばけんの面積と同じくらいで、一番大
きな択捉島えとろふとうは鳥取県とっとりけんの面積と同じくらいです。

にほん りとう めんせき じゆん なら だい い えとろふとう だい い
日本の離島を面積の順に並べると第1位が択捉島、第2位が
国後島、以下沖縄本島、佐渡島い が た け ん（新潟県）、奄美大島
(鹿児島県かごしまけん)と続きます。

しこたんとう だい い らうす おな せかいしぜんいさん とうろく
色丹島は第14位で、羅臼と同じく世界自然遺産に登録され
ている鹿児島県かごしまけんの徳之島とくのしまと同じくらいの面積めんせきです。



別海町作成 「別海北方展望塔」より転載

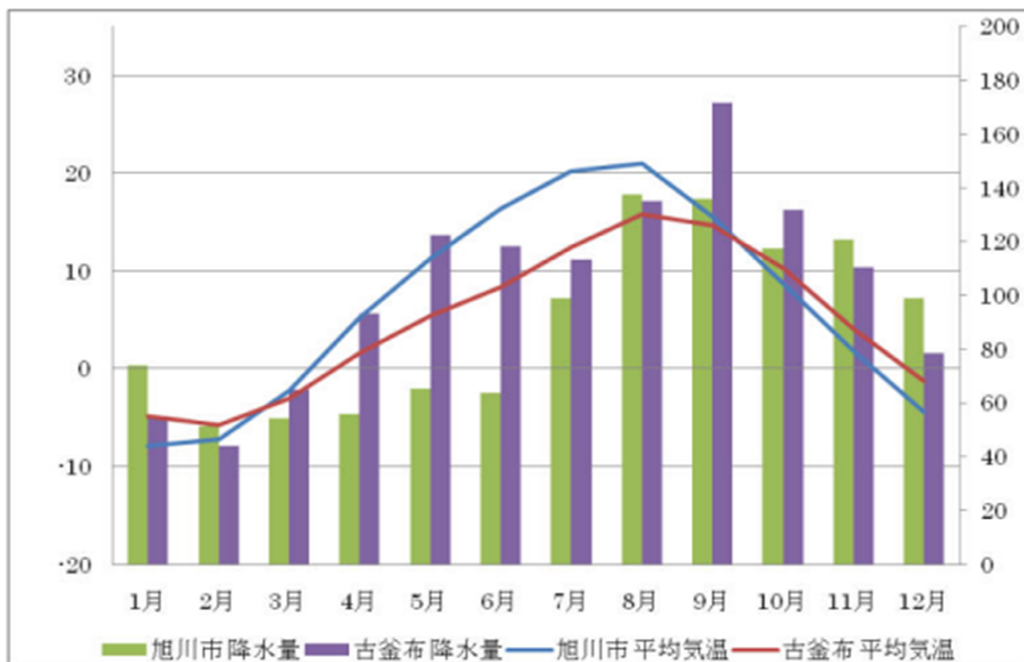
2 北方領土の自然

(1) 北方領土の気候

北方領土の東側は太平洋に、西側はオホーツク海にそれぞれ面しています。この海域は海流があり、季節によって、気候に大きな影響を与えます。

気温は、海流の影響を受けて寒暖の差は大きくなく、冬でも寒さはそう厳しくありません。冬の平均気温は、零下5度か6度くらいで、羅臼とほぼ同じくらいです。また、夏の気温が月平均10度以上にのぼるのは6月から10月までで、8月

■旭川市と北方領土（国後島・古釜布）の気温・降水量



「小学生のよみもの北方領土」より転載
 (公社)北方領土復興期成同盟作成

できえ平均16度くらいです。これは、海霧（ガス）

のため日照時間が少なく、そのうえ海から冷たい風が吹いてくるからです。なお、択捉島紗那測候所の観測記録（昭和5～7年）によれば、年平均3度から5度で、月平均最低気温が零下5度以下の月は12月から3月までの4ヶ月、月平均最高気温が10度以上の月は6月から10月までの5ヶ月となっています。

北方領土の海霧

海霧は、冬はほとんどなく、3月から9月にかけて発生し、6月から8月にかけて最も多くなります。

(2) 北方領土の動植物

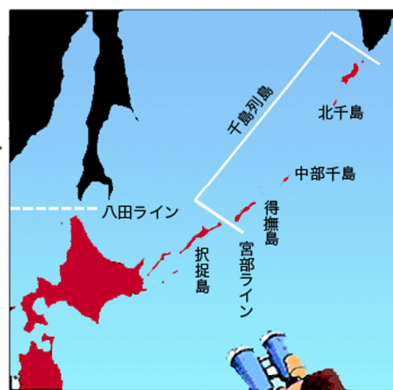
動植物の分布をみると、北方領土の島々は、北海道の動植物の分布と全く同じで、ウルップ島より北の千島列島のものは違いがあります。

宮部金吾博士(北海道大学名誉教授)は、植物の分布を調べ、ウルップ島より北の島々と択捉島より南の島々に分布する植物の違いを発見し、択捉島とウルップ島の間に線を引いてその違いを表しました。この境界線は「宮部ライン」と呼ばれています。

例えば、北海道でおなじみの、エゾマツ、トドマツは択捉島にまで分布していますが、ウルップ島より北には分布していません。

また、動物の分布も北海道と国後島、択捉島の一部は全く同じ状態にあります。

さらに、北方領土の近海は、世界の三大漁場のひとつに数えられる魚の宝庫です。サケ・マス・ニシン・カニ・エビ・貝などが多く住んでいます。また、これらをえさとする

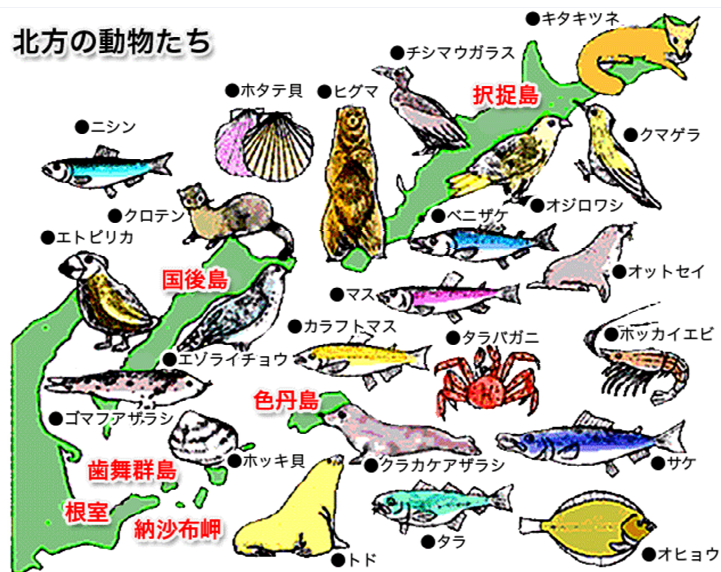


(独) 北方領土問題対策協会作成
「北方領土の自然」より転載

るトドをはじめ、オットセイ・アザラシなどの海のけものもたくさんいます。

ほっほりょうどしまじま
北方領土の島々には、ほっかいどうもおお
み
見られるキタキツネ・ヒグマ・クロテン・

北方の動物たち



(独) ほっほりょうどもんだいたいさくきょうかいさくせい
北方領土問題対策協会作成
HP「北方領土の自然」より転載

エゾライチョウ・クマゲラなどのけものや鳥が住んでいるほか、わたどりとおみち
渡り鳥の通り道にあたるため、オジロワシ・エトピリカ・ウトウなどのめづらしい鳥も見ることができます。

3 ほっほりょうどじんこう 北方領土の人口

ほっほりょうどちしまれつとうおもさんぎょうぎぎょう
北方領土をはじめとする千島列島の主な産業は漁業でしたから、じゅうみんだいぶぶん
住民の大部分は、ぎぎょうとこれにつながるのある仕事を
して生活していました。しゅうせんじほっほりょうどす
終戦時、北方四島に住んでいた人は3,124世帯17,391人
でした。このうちぎぎょういちばんおほか
に
このうち漁業が一番多く、他に
こうむいんしょうぎょうこうこうぎょううんそうぎょう
公務員、商業、鉱工業、運送業などが人々の主な職業でした。
りょういそがじきには、ねむろはこだてほんしゅうほうめん
漁が忙しい時期には、根室や函館・本州方面から5,000人

以上の出かせぎの人々がきたので、人口が増加しました。また、北のシムシュ島やパラムシル島でも、漁が忙しい時期には10,000人を超える出かせぎの人々がやって来ました。これらの人々は漁の時期が終わると、工場の番人などがわずか数十人くらい残って越冬するだけで、あとは引き揚げてしまいました。

1945年（昭和20年）8月15日現在の世帯数及び人口は次のとおりです。

島名・村名		世帯数	人口
歯舞群島	水晶島	154	986人
	秋勇留島	14	88人
	勇留島	79	501人
	志発島	374	2,249人
	多楽島	231	1,457人
色丹島		206	1,038人
国後島	泊村	894	4,864人
	留夜別村	433	2,500人
択捉島	留別村	424	2,258人
	紗那村	226	1,001人
	薬取村	89	349人
計		3,124	17,291人

なお、最近の人口（北方四島在住ロシア人）は次のとおりです。

島名	2020年	2023年
色丹島	3,319人	3,772人
国後島	8,566人	7,715人
択捉島	6,480人	6,916人
計	18,365人	18,403人

※ロシアの統計より。統計上、歯舞群島に住んでいる人はいません。

4 人々の生活

島の住民のほとんどは、漁業を営んでいました。これらの人々の多くは、はじめは漁業経営者に雇われてきたのですが、やがて独立し、ふるさとから家族を呼び寄せて住みつくようになりました。その頃の住宅は、ほとんど木造の平屋造りで小さなものでした。

また、島での生活では、学校や倉庫などを会場にした巡回映画や学芸会・運動会などが喜ばれました。ラジオやレコ



多楽島での運動会

ードなどは、^{ごらく} 娯楽として ^{だいじ} 大事なものでした。^{ねん} 年に ^{いちど} 一度のお祭りは、^{むら} 村じゅうをあげて、^{たいへん} 大変に ^{おこな} ぎやかに行われました。

^{せいかつ} 生活に必要な ^{もの} 物の ^{だいぶぶん} 大部分は、^{ふね} 船で ^{はこ} 運ばれていましたから、^{ぼうふう} 暴風や ^{りゅうひょう} 流氷の ^{じき} 時期には ^{こうかい} 航海ができなくなり、^{たいへん} 大変困りました。

それで ^{しょくりょうひん} 食糧品などは、^{よくねん} 翌年の

^{はる} 春までの ^{ぶん} 分を ^{あき} 秋のうちに

^か 買い ^い 入れておきました。^{しんぶん} 新聞

や ^{ゆうびんぶつ} 郵便物などは、^{なが} 長い ^{あいだ} 間と

だえることがしばしばあり

ました。



^{うま} 馬での ^{いどう} 移動

^{くなしりとう} 国後島や ^{えとろふとう} 択捉島には、^{おんせん} 温泉が ^わ 湧いているところもありましたが、^{こうつう} 交通が ^{ふべん} 不便でしたから、^{ちか} 近くの人々が ^{ひとびと} 利用する ^{りよう} くらいのものでした。

いちばん ^{こま} 困ったことは、^{きゅうびょうにん} 急病人や ^{にん} けが人が ^で 出たときです。

^{いしゃ} 医者や ^{びょういん} 病院などは ^{すく} きわめて少なく、^{せつび} 設備も ^{ととの} 整っていませんで

した。そのうえ、^{こうつう} 交通が ^{ふべん} 不便なために、^{きゅうびょうにん} 急病人の ^{てあて} 手当が ^ま 間に

^あ 合わないことも ^{おお} 多くありました。^{じゅうびょうにん} 重病人は、^{ねむろ} 根室や ^{はこだて} 函館に ^{おく} 送

られました。

5 北方領土の産業

(1) 水産業

北方領土の周辺の海は、寒流の千島海流と暖流の日本海流がぶつかり合うため、豊かな水産資源に恵まれ、古くから世界三大漁場の一つに数えられてきました。

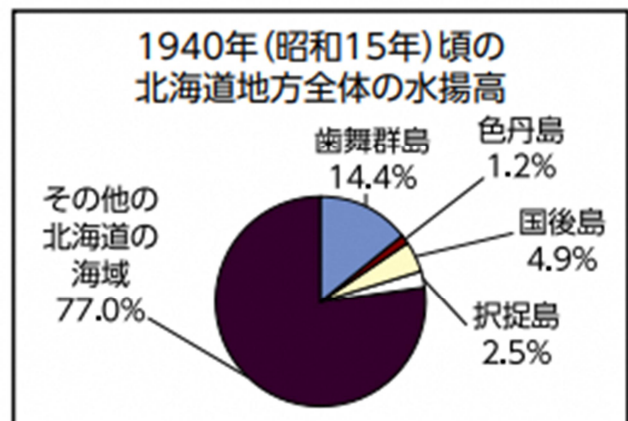
水産資源の種類は、魚類ではマグロ・サンマなどの暖流系、サケ・マス・ニ

シンなどの寒流系の海流に乗って季節的に移動する魚、タ

ラ・スケトウダラ・オヒョウ・カレイ・アブラコなどのほとんど移動しない魚、甲かく類では毛ガニ・タラバガニ・ズ

ワイガニ・ハナサキガニ・エビ、貝類ではホタテ貝・ホッキ貝、海そう類ではコンブ・ノリなどと多くにわたっています。

この地域の主要産業としては、サケ・マス定置網漁業、タ



(公社)北方領土復帰期成同盟作成
「中学生用北方領土学習資料
北方領土問題を学ぼう」より転載



勇留島でのコンブ漁

貝類ではホタテ貝・ホッキ

ラ^{ぎょぎょう}漁業、タラバガニ^{ぎょぎょう}漁業、コンブ採取^{さいしゅぎょう}業があげられます。水揚^{みずあげ}
高^{だか}は、1939年^{ねん}（昭和14年^{しょうわねん}）から1941年^{ねん}（昭和16年^{しょうわねん}）までの3
ヶ^か年平均^{へいきん}で約21万^{まん}トン、当時^{とうじ}の金額^{きんがく}で約5,200万^{まんえん}円で、
北海道^{ほっかいどうぜんたい}全体の23パーセントを占めていました。これを島別^{しまべつ}に
見^みれば、歯舞群島^{はほまいぐんとう}13万^{まん}トン（大部分^{だいぶぶん}がコンブ）、色丹島^{しこたんとう}12,000
トン、国後島^{くなしりとう}45,000トン、択捉島^{えとろふとう}23,000トンです。

水産加工^{すいさんかこう}については、

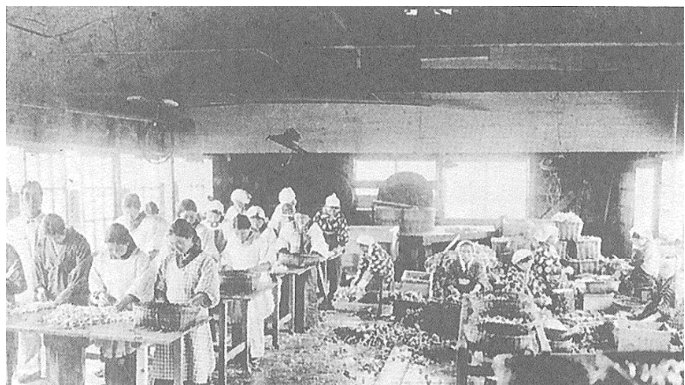
乾物^{かんぶつ}、塩製品^{しおせいひん}、缶詰製品^{かんづめせいひん}、

油製品^{あぶらせいひん}などがあり、1937

年^{ねん}（昭和12年^{しょうわねん}）には、当時^{とうじ}

の金額^{きんがく}で600万^{まんえん}円以上の

生産高^{せいさんだか}をあげていました。



かんづめ工場^{かんづめこうじょう}

(2) 林業^{りんぎょう}

林業^{りんぎょう}は、水産業^{すいさんぎょう}について重要な産業^{じゅうようさんぎょう}でした。

歯舞群島^{はほまいぐんとう}には森林^{しんりん}はほとんどなく、色丹島^{しこたんとう}は総面積^{そうめんせき}の20パーセントがシラカバなどの森林^{しんりん}でした。国後島^{くなしりとう}は90パーセントが森林^{しんりん}で、択捉島^{えとろふとう}は70パーセントが森林^{しんりん}でした。

国後島^{くなしりとう}では、トドマツ、エゾマツなどの質^{しつ}の良い針葉樹^{よしんようじゆ}が

大部分を占め、残りはシラカバやナラなどとなっていました。

また択捉島は、南部がトドマツ、エゾマツの林、中部がシコタンマツやシラカバなどの林、北部がシラカバやナラなどの林となっていました。

年間伐採量は三島を通じ、約14万立方メートルで、その大部分は原木のまま根室や函館に送られ、建築・漁船建造・その他箱材に使用され、一部は島での生活のため魚を入れる箱などの原料となりました。

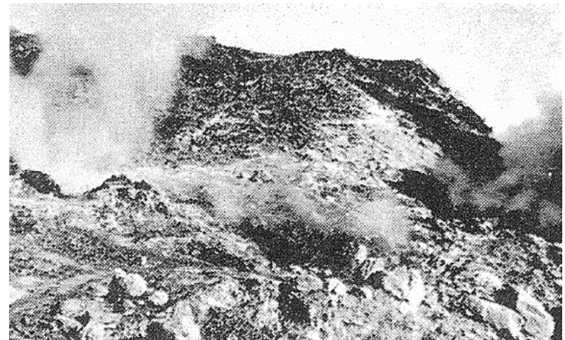
(3) 農業・畜産業

農業は、漁業のかたわら自家用の野菜、家畜のえさにするえん麦や牧草の栽培がおこなわれていた程度で、専業農家はほとんどありませんでした。

畜産については、四島を合わせて約53,000ヘクタールの放牧地に約6,000頭の牛馬が放牧されていました。

(4) 鉱業

国後島・択捉島には、硫黄・
金・銀・銅・鉛・亜鉛・鉄・砂鉄
などの鉱山がありました。しか
し、規模が大きなものは少なく、
自然的条件にも左右されたの



国後島の硫黄山

で、開発はあまり進みませんでした。しかし、これは調査が
不十分であったことや、労力、資材、船の不足によるもので、
将来におけるこの地域の地下資源の開発はとても重要であると見られています。

6 北方領土の交通・通信

北海道と連絡する航路として、根室と行き来をする根室
近海線と根室択捉線、函館と行き来をする函館択捉線があり、
根室・色丹島間と函館・択捉島間は1年を通じ、他はおおむ
ね4月から12月まで、それぞれ2～4回運航していました。
この他、漁が忙しい時期には漁業者や漁業組合などの運航す
る自由航路もありました。

港は、天然の良い港が多く、自然の地形が利用されていま

したが、^{みなと}港の^{しせつ}施設や^{せつび}設備が^{ととの}整っていませんでした。そのため
^{ぎょぎょう}漁業が^{はってん}発展しなかつたり、^{ふゆ}冬の^{こうつう}交通や^{もの}物の^{ゆそう}輸送が^{かくじつ}確実にでき
なかつたので、^{みなと}港の^{しせつ}施設^{せいび}整備が^{いそ}急がれていました。

^{どうろ}道路は、^{そうきょり}総距離で1,000キロメートルありましたが、きち
んと^{せいび}整備されているものはその^{はんぶん}半分以下で、^{はし}橋も^{ふび}不備な^{もの}物
^{おお}多く、^{ばしゃ}馬車が^{つうこう}通行できる^{くかん}区間はとて^{すく}も少なかったようです。

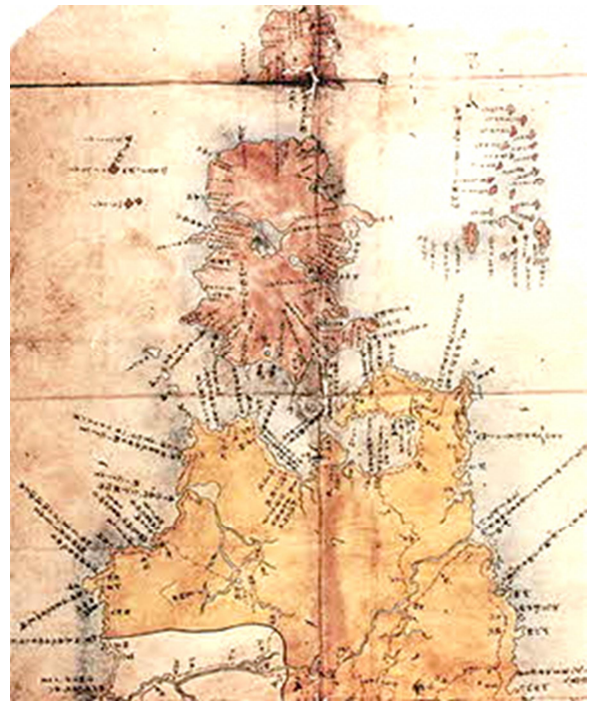
^{つうしん}通信については、^{あきゆりとう}秋勇留島を除く^{のぞ}各島には^{かくとう}郵便、^{ゆうびん}電信を取
^{あつか}り扱う^{ゆうびんきょく}郵便局が2～3^{きょく}局あり、^{しこたんとう}色丹島と^{えとろふとう}択捉島の^{しや}紗那^{なきょく}局には
^む無線^{でんしん}電信^{しせつ}施設がありました。また^{ねむろ}根室・^{くなしりかん}国後間には^{かいていでんしん}海底電信
が^{もう}設けられていました。

7 ^{ほっぽうりょうど}北方領土の^{れきし}歴史

(1) ^{ちしま}千島の^{はっけん}発見

^{ちしま}千島のごとが^{にほん}日本に^し知られるようになったのは、^{いま}今から300
^{ねん}年以上前の^え江戸^ど時代の^{こと}ことです。もともと^{ちしま}千島には、アイヌ
の^{ひとびと}人々が^す住んでいました。^{ほっかいどう}北海道の^{まつまえはん}松前藩の^{きろく}記録に「1615年
に^{ほっかいどう}北海道の^{ひがし}東に^す住んでいるアイヌの^{ひとびと}人々が、^{らっこ}ラッコなどを
^{まつまえはん}松前藩に^{おさ}納めた」とあります。

ラッコは千島の近くの海でしか獲れないので、この当時から松前藩と千島の交流があったことがわかります。さらに、松前藩は、1644年に家来の村上広儀に命じて、「正保御国絵図」という地図を作りました。この地図は、千島の島々を描いた世界で最も古いもので、松前藩が千島の島々を知っていたことがわかります。



正保御国絵図

ロシア人が千島のことを知ったのは1697年のことです。この年、アトラゾフという人が、カムチャツカ半島で、クリール人から千島の島々のことを聞きました。

この副読本では、国後島、択捉島及びウルップ島から北のパラムシル島、シュムシュ島までの島々を「千島」と呼ぶことにします。

(2) 千島の開発

ロシア人がはじめて千島に渡ったのは1711年でした。この年にロシアの兵士達がシュムシュ島に上陸し、2年後にはパラムシル島にも上陸しました。その後、千島には毛皮になる動物が多く住んでいることがわかり、1768年にはチョールヌイという人が千島列島を調査しながら南下し、択捉島に上陸した後、ウルップ島でロシア人として初めて翌年まで越冬しました。そして、1795年にはウルップ島にロシア人約40人が移り住むようになりました。

一方、日本人は厚岸を中心
に千島と交易をしていきました
が、1754年に「国後場所
(交易地)」が開かれ、千島
との交易の中心がそちらに
移るようになりました。こ



大日本 厚岸 島 標柱

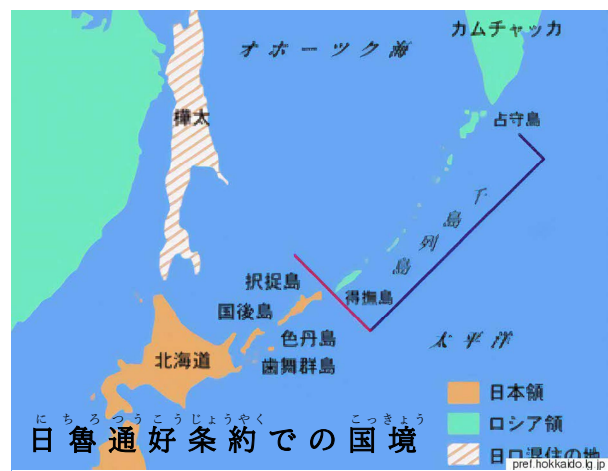
ころから、日本はロシア人が千島に進出してきていることを知るようになりました。そこで、幕府は千島の守りを固めるため、1785年に千島に調査団を送りました。調査団の一人の最上徳内は翌年、択捉島とウルップ島へ渡り、択捉島にい

たロシア人の話から千島でのロシア人の活動の様子などを知りました。しかし、1791年に最上が再び択捉島を訪れた時には、ロシア人はいませんでした。

1800年には幕府の役人の近藤重蔵が、択捉島に「大日本恵登呂府」と書いた柱を建て、日本の領土であることを示しました。さらに、日本は1801年からは択捉島に役人を送り、東北地方の武士に択捉島の守備を命じたり、漁場を開いたりしました。その後、日本とロシアの間に正式に国境が決まっていなかったために、択捉島にあった日本人の村々が襲われるなど、いろいろな問題が起きました。

(3) 国境が決まる

日本とロシアの国境は、1855年に結ばれた「日魯通好条約」で択捉島とウルップ島との間と決められました。話し合いの中でロシアは「択捉島もロシアのものだ」と言いましたが、日本は



根室振興局HP
「北方領土の歴史」より転載

「択捉島は日本が開拓して、日本人が住んでいるので日本のものだ」と主張して、日本の意見が認められました。この条約では、樺太(サハリン)についても話し合われ、結局樺太は国境を決めないでおくこととなりました。

日魯通好条約とは…

1855年(安政元年)2月7日、伊豆の下田において結ばれた条約であり、択捉島とウルップ島の間に日露の国境が定められました。この時に、北方領土が日本の領土であることが初めて国際的に認められました。この条約が結ばれた2月7日を「北方領土の日」と定めています。

(4) 国境の変更

しかし、樺太での日本人とロシア人の争いがたえなかったため、あらためて国境について話し合うこととなりました。

そのころ、ロシアは樺太の開発に大変力を入れていたのですが、日本は樺太を開発するようにはありませんでした。そ

のため、樺太の開発をするよりは北海道の開発に力を入れる

ことにして、樺太をロシア

の領土とするかわりに、

千島のウルップ島からシム

シュ島までを日本の領土と

する条約を結びました。こ

の条約は 1875年（明治 8

年）に結ばれ、「樺太千島交換条約」といいます。



根室振興局HP

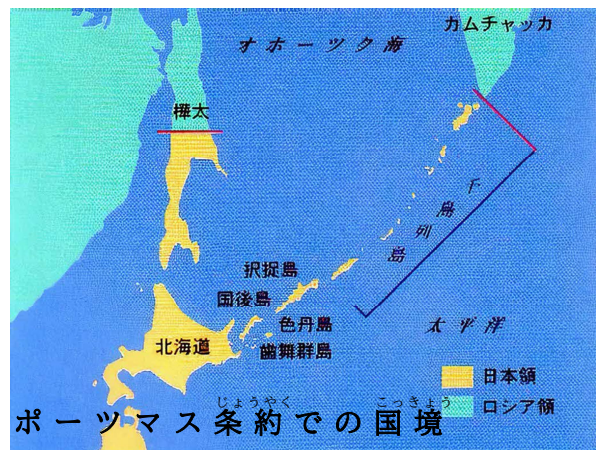
「北方領土の歴史」より転載

樺太千島交換条約とは…

1875年（明治 8年）、日本はそれまでの日露混住の地とされていた樺太を放棄する代わりにウルップ島より北の「千島列島」をロシアから譲り受けました。

この条約には「千島列島」として、ウルップ島からシムシュ島までの 18 の島の名前が列挙されており、北方領土が「千島列島」に含まれないことが明らかにされています。

その後、1904年（明治37年）に日本とロシアがともに朝鮮を自分のものにしようとしたことから対立して、戦争（日露戦争）が起きました。1905年（明治38年）、戦争は終わり、日本とロシアの



根室振興局HP
「北方領土の歴史」より転載

間で「ポーツマス条約」が結ばれました。この条約によって、日本はロシアから、樺太の南半分を譲り受けました。

ポーツマス条約とは…

1905年（明治38年）日露戦争の講和条約として締結されたこの条約で、南樺太（樺太の北緯50度から南）が日本の領土となりました。

千島列島及び北方領土は、日露戦争の結果により日本の領土になったと誤解している人もいますが、日露戦争の影響を受けずに、これまでどおり日本の領土のままです。

(5) 第二次世界大戦

ロシアでは1917年（大正6年）にロシア皇帝が倒され、ソビエト連邦（ソ連）が誕生しました。日本は勢力を広げるため、樺太北部やシベリアなどに出兵しました。

さらに、日本は中国において利益を得るために1931年（昭和6年）には中国と、1941年（昭和16年）にはアメリカ・イギリスなどと戦争を始めました。初めのうちは、日本が有利に戦いを進めましたが、しだいに不利になってきました。

1943年（昭和18年）に日本との戦争を早く終わらせるために、中国・アメリカ・イギリスの代表が「カイロ宣言」を発表しました。

その中には、「中国・アメリカ・イギリスは自分の国の領土を広げるために戦争するのではない」ということと「日本は暴力によってうばった地域を返さなければならない」ということが書かれていました。

日本とソ連は、1941年（昭和16年）に「日ソ中立条約」を結び、日本とソ連が直接戦争をしないという約束をしていました。

しかし1945年（昭和20年）にアメリカとイギリスは、日本を降伏させるには、ソ連が日本との戦争に参加することが必要

と^{かんが}考え、ソ連^{れん}が日本^{にほん}と戦争^{せんそう}を^{はじ}始めたら、樺太^{からふと}の南半分^{みなみはんぶん}が返還^{へんかん}されること、千島列島^{ちしまれつとう}が引き渡^{ひわた}されることをソ連^{れん}に約束^{やくそく}しました。この約束^{やくそく}を「ヤルタ協定^{きょうてい}」と言^いいます。

そして、ソ連^{れん}は「ヤルタ協定^{きょうてい}」にしたがって、「日ソ中立^{にっ ちゅうりつ}条約^{じょうやく}」をやぶり、1945年^{ねん}（昭和^{しょうわ}20年^{ねん}）8月^{がつ}9日^かに日本^{にほん}と戦争^{せんそう}を^{はじ}始めました。原爆^{げんばく}の投下^{とうか}とソ連^{れん}の参戦^{さんせん}により、日本^{にほん}は、8月^{がつ}15日^{にち}、「ポツダム宣言^{せんげん}」を受け入れ無条件^{むじょうけんこうふく}降伏^うしました。

「ポツダム宣言^{せんげん}」というのは、アメリカ^{ちゅうごく}・中国^{ちゅうごく}・イギリス^{ちゅうごく}が発表^{はっぴょう}したもので、ソ連^{れん}も日本^{にほん}と戦争^{せんそう}を^{はじ}始めたときに、この宣言^{せんげん}に参加^{さんか}しています。

この「ポツダム宣言^{せんげん}」には、「カイロ宣言^{せんげん}で発表^{はっぴょう}したことはまも守^{まも}られること」「日本^{にほん}の領土^{りょうど}は連合^{れんごう}国の決^きめるいくつかの島々^{しまじま}に限^{かぎ}られること」などが書^かかれています。

(6) 奪われた島々

日本が降伏してから3日後の8月18日、ソ連はとつぜんシムシュ島への攻撃を開始し、次々と千島の島々に上陸しました。

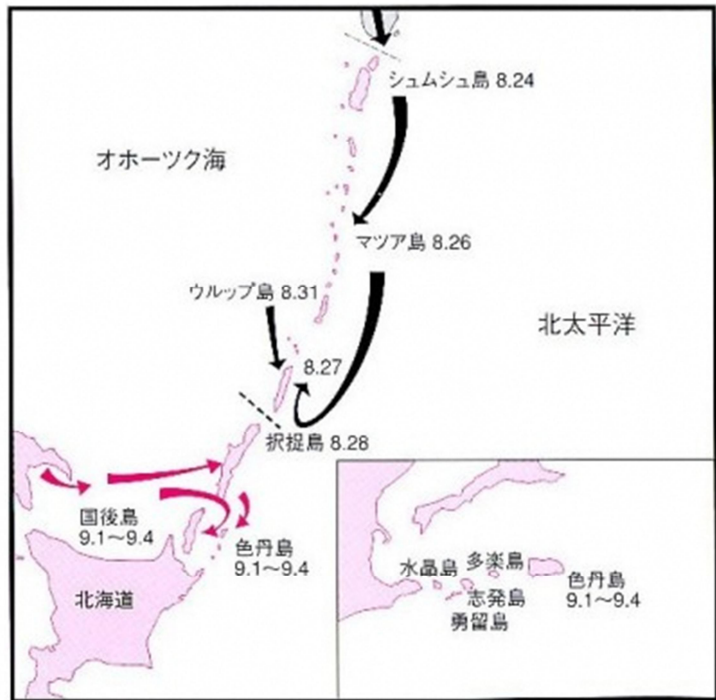
そして、9月5日までに千島の島々と

歯舞群島、色丹島はす

べてソ連に占領されました。

その当時、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島には約17,000人の日本人が住んでいましたが、ソ連の命令で、1948年（昭和23年）までに日本へ強制的に引き揚げさせられてしまいました。

日本ではこれらの元島民を中心に、戦後すぐに返還要求運動が始まりました。



外務省「われらの北方領土2024年版」より転載

(7) サンフランシスコ平和条約

1951年（昭和26年）、日本と第二次世界大戦で戦った国々との平和を回復するため会議が開かれ、「サンフランシスコ平和条約」が日本と48カ国の間で結ばれました。

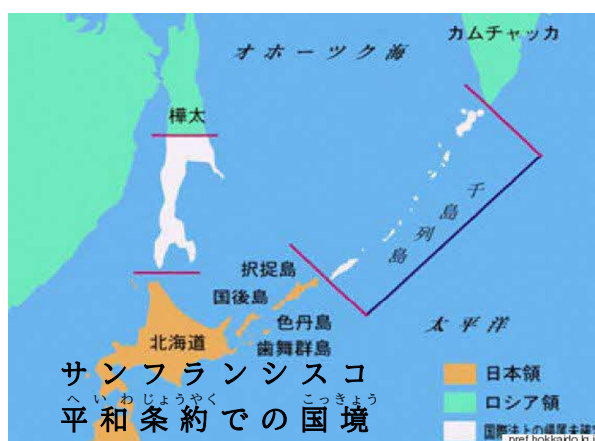
日本はこの条約で「千島列島と樺太の南半分に対するすべての権利、権限、請求権を放棄する」ことを認めました。

この会議の中で、ソ連は「千島列島はソ連のものにする」というふうに変えるべきだと言いましたが、認められず、結局日本と条約を結びませんでした。

また、この条約を締結した同じ日に、日本の安全保障のため、アメリカ軍の日本駐留を定めた日米安全保障条約が調印されました。

(8) 日ソ共同宣言

日本はその後、ソ連と平和条約を結ぶため努力してきました。1956年（昭和31年）に日本とソ連は「日ソ共同宣言」を発表



し、国交を再開しました。その中で「平和条約を結んだあとで歯舞群島と色丹島を日本に引き渡す。」という約束がされました。しかし、1960年（昭和35年）に日本が日米安全保障条約を改定するとソ連は「日本からアメリカ軍が出ていかなければ歯舞群島と色丹島は返さない。」と態度を変えました。その後、ソ連がロシアになってからも、日本は平和条約を結ぶために話し合いを続けていますが、領土の問題が大きな障害となっていて、今も結ばれていません。

（9）北方領土の問題

日本は歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島を他の千島とはっきり区別して「北方領土」と呼び、ロシアに対して返還を求めていますが、ロシアがそれを拒否してきました。

ロシアは「ロシアが最初に千島を発見し開拓した。」「これらの島々はヤルタ協定でロシアに引き渡されることとなっている。」「日本がサンフランシスコ平和条約で放棄した千島列島には国後島と択捉島も当然含まれている。」などと言って、一方的に自分の領土としてきました。

しかし、日本に政府は「北方領土は、1855年に日魯通好条約で国境が決められてからずっと日本の領土である。」「ロシアは自分の国の領土を広げるために戦争をするのではないというカイロ宣言に違反して、千島を占領している。」「サンフランシスコ平和条約で放棄した千島列島には、もともと日本の領土である北方領土は含まれない。」と考^{かんが}えて、ロシアとの話^{はな}し合^あいを続^{つづ}けています。

8 だ捕と安全操業問題

(1) だ捕と抑留

北方領土の島々がソ連に占領されてから、根室地方の漁民は、魚類や海そう類が豊富な北方領土付近の海域から、追い出されてしまいました。そのうえ、大変な苦勞を強^しいられる人もたくさん出^でてきました。

それは、1977年（昭和52年）まで、日本は領海を3海里（約5.5キロメートル）としているのに対し、ソ連は12海里（約22キロメートル）を主張し、日本の漁船が、北方領土の島々から12海里以内に入ると、だ捕するようになったからです。

さらに、世界の多くの国々が、自分の国の漁業資源を保護するため、他の国が勝手に漁をすることができない海域を、排他的経済水域（EEZ）とよび、その海域を沿岸から200海里（約370キロメートル）とする中で、1977年（昭和52年）3月、ソ連も排他的経済水域を200海里としました。日本もこれに対応するため、同年7月から領海を3海里から12海里に広げること、排他的経済水域を200海里とすることに踏み切りました。

このような、新しい漁業のしくみのもとで、北方領土の島々の沿岸から200海里以内で自由に漁をすることができなくなるなど、漁業従事者は、いろいろと苦しい状況に追い込まれました。



海上保安庁海洋保安部HPより転載

1946年（昭和21年）から2011年（平成23年）4月までの間で、だ捕された船の数は1,339隻以上、人数は9,489人に及んでいます。

日本漁船をだ捕するのは、おもにロシア国境警備隊の船で、船を止めさせ、武器を持った国境警備員と通訳が乗り込み船内を点検し、事情を聞き取り、漁船の位置を測定し、船がロシアの主張する排他的経済水域に入った場合はもちろん、その付近であっても連行したりします。

乗組員は、数か月の抑留生活の後、帰されますが、船長・漁労長らは、国境を越えた罪と密猟の罪で裁判にかけられ、短くて3ヶ月、長ければ4年ぐらいの刑を受けます。また、船や漁具などはほとんどの場合、没収されます。

このため、一家の働き手を失った乗組員の家族の生活は苦しくなります。また、船や漁具を没収された船主は、経営の立て直しを図るのですが、その苦勞は並大抵のものではないのです。

(2) 北方領土の安全操業問題

その後も、ロシアによる日本漁船のだ捕や銃撃事件が後を絶たず、この問題の解決を求める声が高まっていました。

そこで、1995年（平成7年）3月から北方四島周辺での操業について日ロ両国の間で話し合いが行われてきました。

そして、1998年（平成10年）2月21日に、水産資源保護のための費用などを日本が支払うこと、と獲ることができる魚の量を制限することなどを条件に、協定が結ばれ、北方領土の島々の沿岸か



根室市HPより転載

ら3海里以上外側での漁が認められました。これで漁民はやっと安心して操業できるようになり、問題の解決に大きく前進しました。

9 北方領土への墓参

第二次世界大戦後、北方領土の島々に住んでいた人たちは、全員日本本土に引き揚げましたが、祖先の墓はそのまま残してきました。その墓参りをしたいと思うのは、人間として当然の願いです。

そこで元島民で組織している「千島齒舞諸島居住者連盟」が中心となって、ソ連に要請を続けた結果、1964年（昭和39年）やっと第1回目の墓参が実現し、1975年（昭和50年）までに8回の墓参が行われました。

ところが、1976年（昭和51年）になって、ソ連は、旅券（外国へ行くときに必要な身分証明書、パスポートという。）をもち、査証（他の国に入国するとき、その国から入国してもよいという許可証。ビザという。）を受けることを要求してきました。日本政府は、北方領土はあくまでも日本の領土であると主張している立場から、旅券を発行すると外国の領土ということになるので、とうてい認めることができません。

このため、1976年（昭和51年）から1985年（昭和60年）まで、墓参を中止せざるを得ませんでした。

こうした中、1986年（昭和61年）1月、8年ぶりに北方領土問題を含めた平和条約を結ぶための話し合いが行われました。このとき墓参についても話しあわれ、8月に11年ぶりに歯舞群島・色丹島、1989年（平成元年）8月、19年



択捉島紗那墓地での墓参

ぶりに国後島、1990年（平成2年）8月、第二次世界大戦後初めての択捉島の墓参が行われました。

10 ビザなし交流

北方領土はもともと日本の領土ですから、日本の国内を旅行するのと同じで、自由に行き来することができるはずで

す。しかし、残念なことに、実際には北方領土はロシアに不法に占領されているため、日本人が自由に行き来することができません。

そこで、1991年（平成3年）4月のゴルバチョフ大統領来日の際に、ソ連側から、「日本国民と北方四島在住のソ連人との交流の拡大および日本国民による北方四島への旅券（パスポート）・査証（ビザ）なしの訪問」が提案され、相互理解を深めることを目的に、1992年（平成4年）から交流がはじまりました。

前に述べたように、ふつう、外国を訪れるときには、その国からその国に入国してもよいという許可証（ビザ）をもらいます。しかし、北方領土は日本の領土なので、この交流は、北方領土を訪問する日本人も、北方領土から日本を訪問するロシ

別記様式 4

身分証明書
Удостоверение личности

(Требуются фото-подпись(и).)

氏名 _____ (写真貼付)
Фамилия/имя _____ (刻印)

19 年 月 日生
19 / / (год/месяц/число рождения)

現住所 _____
Место жительства _____

右の者は日本国民であって、〇〇島に赴く者であることを証明する。
Настоящий и удостоверение. Это удостоверение выдано является японский подданным и посетит на остров

平成 年 月 日
19 года 外務大臣
(証印)

Министру иностранных дел Японии

本証明書の有効期間は1か月とし、訪問終了後は速やかに外務大臣に返納しなければならない。
Срок действия настоящего документа - один месяц. После окончания посещения этот документ должен быть возвращен незамедлительно Министру иностранных дел Японии.

ア人も、外務大臣が発行する身分証明書があれば、ビザがな

くても訪問できる仕組みにしました。そのために、この交流はビザなし交流と言われるようになりました。



色丹島での青少年の交流会

ビザなし交流は1992年（平成4年）から、2019年（令和元年）までで、日本から北方領土を訪れた人は14,356人、北方領土から日本を訪れたロシア人は10,132人となっています。

色丹島の日本人墓地での墓参



ビザなし交流は、大人だけではなく、ファミリーの訪問、青少年の訪問もあります。

北方領土の島々では、役場や学校を訪問したり、美しい自然豊かな場所を訪れたりします。また、ロシア人との対話集会もあります。

しかし、残念ながら、2020年（令和2年）から2022年（令和4年）は新型コロナウイルス感染症をめぐり状況により中止に、2023年（令和5年）からは、ロシアによるウクライナ侵略を踏まえ実施されずにいます。

おわりに

ロシアのウクライナ侵略は、日口間の平和条約交渉を事実上停止させ、交渉の先行きを不透明にしています。

また、ロシアは日本の制裁に対抗して、北方領土へのビザなし交流や墓参を一方的に停止するなど、両国の関係が悪化している現状があります。

北方領土を返還してもらうということは、国と国との難しい問題です。そのために、一番大切なことは、我が国の国民ひとりひとりがこの問題について、正しく理解し、日本の立場をねばり強く主張していくことです。

最後に、この言葉を皆さんに紹介して終わりたいと思います。

隣国から1平方マイルの土地を奪われて平気な国民は、やがては残りの土地まで奪われ、ついには自分の土地といえるもの一切を失い、国家として存立することができなくなるだろう。

ドイツの法律学者 イェーリング

「権利のための闘争」イェーリング 村上淳一訳 岩波文庫

< 資料・画像提供 協力 >

- ・ 外務省
- ・ 環境省
- ・ 気象庁
- ・ 海上保安庁海洋保安部
- ・ 北海道根室振興局
- ・ 根室市
- ・ 別海町
- ・ 羅臼町
- ・ (独) 北方領土問題対策協会
- ・ (独) エネルギー・金属鉱物資源機構
- ・ (公社) 北方領土復帰期成同盟
- ・ 羅臼漁業協同組合
- ・ 羅臼町郷土資料館
- ・ 写真AC

表紙デザイン

関 屋 敏 隆 氏（切り絵絵本作家）

羅臼町副読本「知床学（私たちの北方領土・
ゼロカーボンを実現するために）」編集委員会

委員長 西田 威嗣 知床未来中学校校長

委 員 小田木咲子 羅臼小学校教諭

// 塚野 紘己 //

// 堺 裕美 春松小学校教諭

// 水落 李空 //

// 野田 泰寿 羅臼町町民環境課課長

事務局 横澤 英三 羅臼町教育委員会

教育指導主幹

// 石本 有紀 羅臼町教育委員会主事

羅白町立羅白幼稚園



羅白町立春松幼稚園



羅白町立羅白小学校



羅白町立春松小学校



羅白町立知床未来中学校



北海道羅白高等学校



発行日：2026年3月31日

発行者：羅白町海洋教育推進協議会
事務局

〒086-1892

北海道目梨郡羅白町栄町 100-83

北海道羅白町教育委員会内

TEL 0153-87-2129 fax 0153-87-2810

✉ sec.gakumu@rausu-town.jp

印刷：雨宮印刷株式会社

